

子安延命地蔵

この像は地蔵菩薩の像である。地蔵菩薩はすべての衆生の救済者であり、子供の守護者でもある。この像は聖林寺の本尊である。18世紀、地域の女性たちの多くが難産に苦しんでいたため、僧の文春がこの像の木造のバージョンを制作した。文春の姉たちも難産に苦しめられたという。文春はその木彫の像を背中に背負って日本全国の巡礼の旅に出た。4年間の旅を終えて戻ってきた文春は、この像を聖林寺に寄贈し、それをもとにして、現在の地蔵菩薩像がつくられた。今日でも、この地蔵のもとには多くの女性の参拝者が安産祈願のために訪れている。